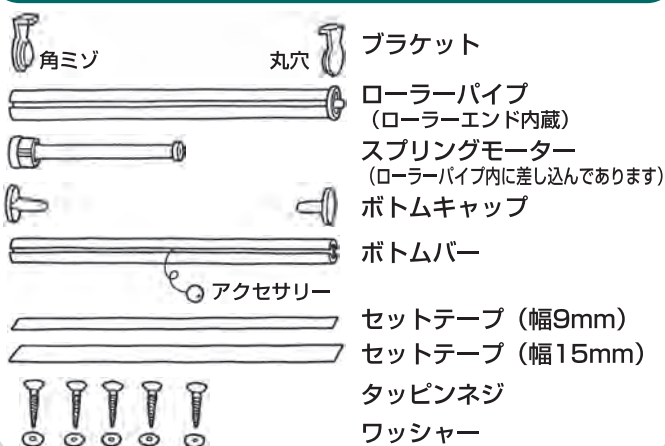


# お部屋のイメージを変える あなただけのロールスクリーン を作りましょう。

## つくる前に確かめましょう。

### キットの内容



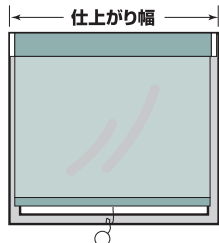
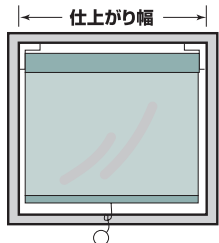
### 道具



## キットをつくる前の準備

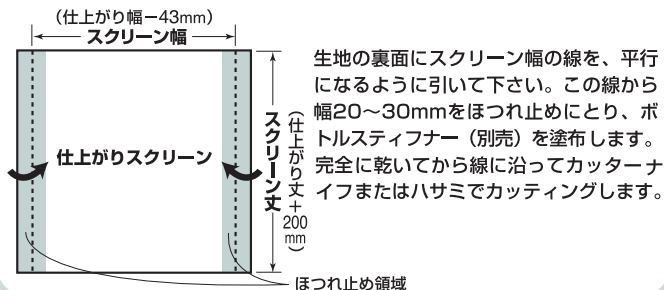
### 取付場所の採寸をします。

取り付け場所の採寸寸法が仕上りの全体寸法になります。



### スクリーン(生地)をカットします。

スクリーン幅は仕上がり幅から43mmひいた寸法です。スクリーン丈は仕上がり丈に200mm足した寸法となります。なお、スクリーンの幅と丈の比率は、1対4以下になるようにして下さい。



### キットの幅詰めが必要なとき

仕上がり寸法が、キットの寸法よりも小さい時には、金鋸でカットします。

- ローラーパイプ □ は仕上がり幅より43mmひいて下さい。
- ボトムバー □ は仕上がり幅より38mmひいて下さい。
- セットテープ ■ は仕上がり幅より43mmひいて下さい。

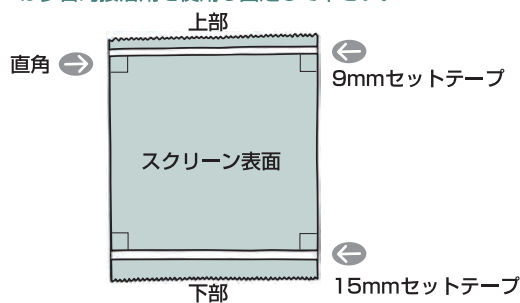
#### ご注意

ロールスクリーンの最小サイズはデータシートを参照して下さい。

## スクリーンを組み立てましょう。

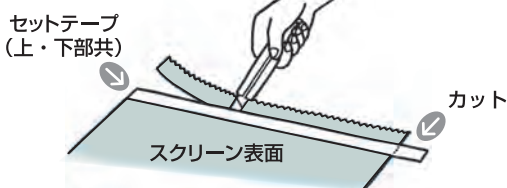
# 1

スクリーンの表面の上部に9mm幅のセットテープを、下部に15mm幅のセットテープを四隅が直角になるように貼付します。  
※スクリーン(生地)とセットテープの接着力が弱い場合は多目的接着剤を使用し固定して下さい。



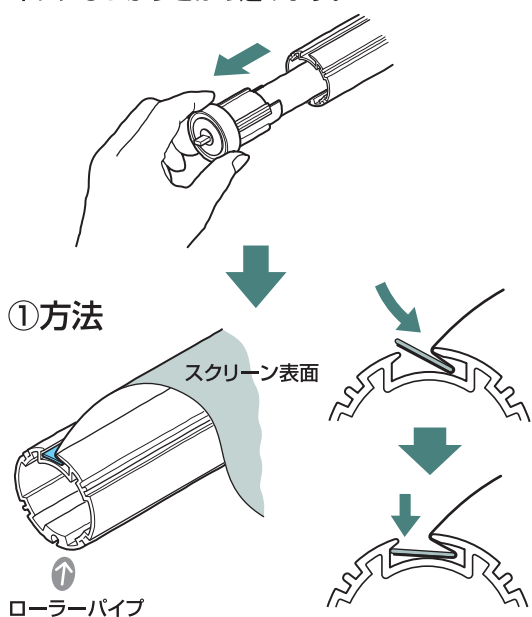
# 2

スクリーンとセットテープのあまった部分をカットします。

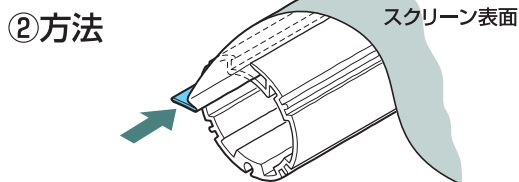


# 3

スプリングモーターをローラーパイプから取り外し、9mm幅のセットテープを貼付したスクリーン上部を下図のようにローラーパイプの溝に差し込みます。取り外したスプリングモーターを再度ローラーパイプにしっかりとめ込みます。

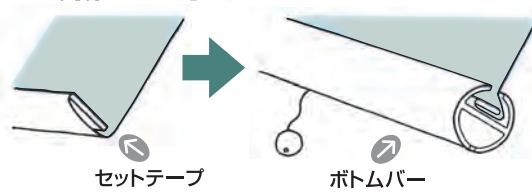


※ローラーパイプの溝にスライドさせて挿入することもできます。



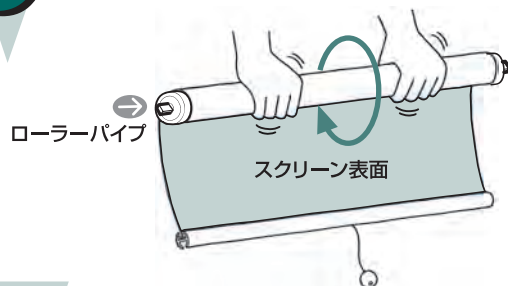
# 4

スクリーン下部も15mm幅のセットテープを中心に一巻きし、ボトムバーの溝にローラーパイプと同様のやり方で差し込みます。



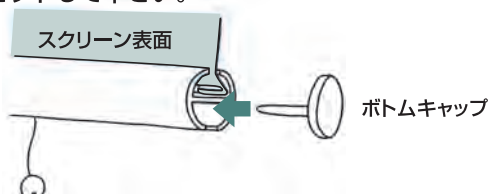
# 5

下図のようにスクリーンを巻いて下さい。巻く時、スクリーンのしわやたるみが出ないように、ローラーパイプにスクリーンを巻き取ります。



# 6

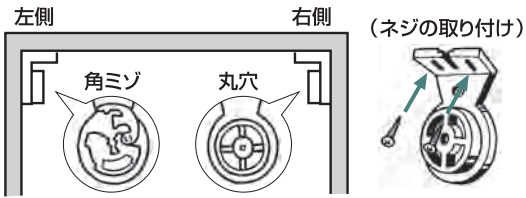
ボトムバーの左右にボトムキャップを差し込み、アクセサリがボトムバーの中心にくるようにセットして下さい。



## ブラケットを取り付けましょう。

### 7

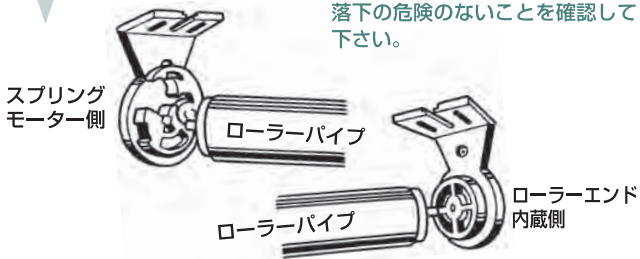
ロールスクリーンのサイズに合わせて、ブラケットをタッピングネジで水平に取り付けます。  
※角ミゾのブラケットのカバーは外しておきます。



## 本体を組み付けましょう。

### 8

右側の丸穴のブラケットにローラーエンド（ローラーパイプに内蔵）を差し込み、左側の角ミゾのブラケットにスプリングモーターを落とします。  
※ロールスクリーンを左右に動かし、落下の危険のないことを確認して下さい。

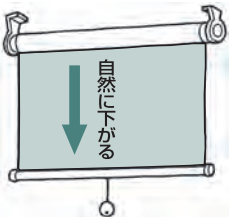


### 9

手を離すとスクリーンは自然に下りてきます。スクリーンが下がったらそのまま本体をブラケットから外し、手でスクリーンを巻き取ります。巻き取ったら、再度本体をブラケットに組み付けます。この時、スクリーンが下がるようならもう一度スクリーンをブラケットから外して巻き取ります。

※スクリーンを少し下に引っばるとスプリングモーターがカチッと音がしてスクリーンが止まります。

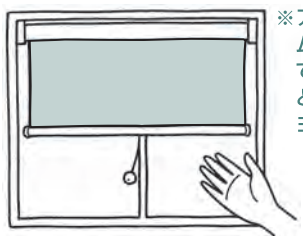
スクリーンが自然に下がらず、操作し、開閉することを確認して下さい。角ミゾのブラケットのカバーをし、「カチッ」と音がするまでロックしてください。※巻き取りは強すぎず、弱すぎず、自然な感じでいい、もし動作が悪い場合はやり直して下さい。



### 10

これで完成です。操作は、アクセサリを手で引いて、止めたところでスクリーンはストップします。スクリーンを巻き上げたい時には、少し下に引いて手を離すと巻き戻ります。

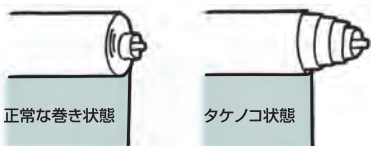
※アクセサリは必ずボトムバーの中心にセットして下さい。片寄っていると、「タケノコ状態」やヨレの原因になります。



**完成!**

## こんなときには

### 巻きズレにご注意!



巻き込んだ時にズレて「タケノコ状態」が生じる場合、ローラーパイプにビニールテープを2~3cm貼って調整します。

### うまく巻き戻らないときには



うまく巻き戻らない時にはムリに巻かず、斜め手前に引いてから離すと戻ります。  
※ローラーパイプを手で回転させないでください。破損します。

### ご使用上の注意

1. ロールスクリーン本体およびボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりしますと故障の原因や落下する場合があります。危険ですのでおやめ下さい。
2. ロールスクリーンの下に温度の高くなるストーブなどを置かないで下さい。火災の原因になります。
3. 風が強い時は、ロールスクリーンを巻き上げるか、窓を閉めて使用して下さい。スクリーンがあおられて器物などにあたり、破損の原因となります。
4. 部品の改造は、絶対に行わないで下さい。

# スクリーン

### キットに合わせる生地選び方

- ① 生地重量200g/m<sup>2</sup>以下。  
(シート地を目安にしてください。)
- ② 厚さが均一でゆがみがないこと。
- ③ 生地必要寸法  
仕上がり幅のプラス30mm  
仕上がり丈のプラス200mm

### スクリーンほつれどめ(別売)

● ボトルスティフナー



### データシート



株式会社 メタコ

本社  
106-0032 東京都港区六本木7-3-8 永谷ヒルプラザ六本木203  
TEL 03-3403-9571 FAX 03-3403-6498

大阪営業所  
540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋1-4-31-9F  
TEL 06-6947-1771 FAX 06-6947-1772

www.metaco.tokyo